

Bridge ~市民病院と地域をつなぐ~

— 目 次 —

〇トピックス

- 1 手術センター棟の建設が始まりました
- 2 「遺伝相談外来」の開設について
- 3 最近の脳神経外科における血管内治療について

〇アイソトープ検査のご紹介

vol.3

2017. 12. 1

発行: 豊橋市民病院 患者総合支援センター

【トピックス1】

手術センター棟の建設が始まりました

当院は、東三河地域の中核病院として、内視鏡手術件数の増加に対応するとともに、患者さんの手術待ち時間の短縮や緊急手術への対応強化のため手術センター棟を建設し、新たに高機能な内視鏡手術室のほか、外科手術とカテーテル治療を同時に実施できるハイブリッド手術室を整備いたします。

【ポイント①】

手術センター棟は、3階建てで現在の診療棟3階にある既設の手術センターにつなげることであり、3階部分に高機能な内視鏡手術室2室のほか、特に、脳外科手術や心臓外科手術で威力を発揮する手術台と血管撮影装置を組み合わせたハイブリッド手術室を採り入れます。

【ポイント②】

内視鏡手術室の1室は、手術支援ロボット「ダヴィンチ」専用にあく設計し、より一層活用が可能となります。

【ポイント③】

手術センター棟の整備により、最新医療を行うことができるとともに、手術待ちの短縮にもつながり、これまで以上に、患者さんが安心して手術を受けられる施設になります。



手術センター棟 完成イメージ



ハイブリッド手術室 イメージ



荳初(かりぞめ)の儀

去る10月12日に安全祈願祭が行われました。
今後、平成31年1月のしゅん工、平成31年度からの稼働に向け、建設工事をすすめてまいります。

* 施設概要 *

構 造	延床面積	概 要
鉄筋コンクリート造 3階建	1,529㎡	内視鏡手術室 2室 ハイブリッド手術室 1室 その他

【トピックス2】

遺伝相談外来の開設と母体血胎児染色体検査(NIPT)開始のお知らせ

臨床遺伝専門医制度臨床遺伝専門医

産婦人科第二部長 岡田 真由美

当院では、本年9月から産婦人科内に遺伝相談外来を開設し、母体血胎児染色体検査 (NIPT)を開始いたしました。この検査はNIPTコンソーシアムの臨床研究の一環として実施されるもので、実施にあたり日本医学会に届け出を行い臨床研究施設の認可を受けています。

検査にあたっては「母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する指針」を遵守し、検査結果やその後の妊娠・分娩経過まで報告することが義務付けられており、検査前にはカップルで遺伝カウンセリングを受けていただく必要があります。

適応を満たし検査を希望される妊婦様がお見えになりましたら、病診連携室を通じて遺伝相談外来へご紹介いただきますようお願いいたします。

1 検査の対象となる方

胎児の染色体疾患 (21トリソミー、18トリソミー、13トリソミー) についての検査希望があり、以下のいずれかの条件を満たす妊娠女性

- (1) 染色体疾患 (21トリソミー、18トリソミー、13トリソミーのいずれか) に罹患した児を妊娠、分娩した既往を有する場合
- (2) 高年妊娠の場合 (分娩時35歳以上)
- (3) 胎児が染色体疾患 (21トリソミー、18トリソミー、13トリソミーのいずれか) に罹患している可能性の上昇を指摘された場合 (※)

(※) 超音波検査、母体血清マーカー検査で可能性の上昇を指摘されている場合や両親にロバートソン転座 (21/13染色体など) がある場合
(超音波検査で形態異常を認める場合は確定検査をおすすめします。)



2 遺伝相談外来開設日

毎月第1、第3火曜日の午後1:30より完全予約制で行います。

外来予約枠には限りがありますので検査希望者多数の場合、ご希望の日程で予約が取れない可能性もあります。あらかじめご了承ください。

3 諸費用

本検査に係る診察料、検査料、遺伝カウンセリング料はすべて自費となります。

- (1) 遺伝カウンセリング料 … 5,400円/30分 (消費税込み)

初回の遺伝カウンセリングはカップルで受診していただきます。カップルで受診いただいた場合も上記料金となります。2回目以降、検査結果の開示、説明を含めた遺伝カウンセリングについても同料金となります。

- (2) NIPT検査料・手技料 … 146,070円 (消費税込み)

初回遺伝カウンセリングより1~2週間後に行います。

例) 初回遺伝カウンセリングが30分で終了し、2週間後に採血。4週間後に検査結果の開示、遺伝カウンセリングを行った場合。合計156,870円 (消費税込み) となります。

4 その他留意事項

- (1) 検査は10週以降で可能とされていますが、受診時が妊娠11週0日~14週6日になるようにご予約ください。
(結果が陽性であった場合、羊水検査で確定を行う必要があります。)
- (2) カップルで遺伝カウンセリングを受けていただき両人とも研究に同意頂いた場合検査を施行いたします。
- (3) 東三河に現住所のある方で検査後引き続き当院に通院し、分娩される方に限定させていただきます。(指針により、検査施行後の妊娠経過の観察を自施設で行うことが可能であることが求められています。加えて妊娠の転機を報告、登録する必要があります。)
- (4) NIPT検査が陽性でも羊水検査で陰性となることもあります。この検査のみで妊娠中絶を行った場合、正常の胎児を中絶してしまう可能性もあります。結果が陽性あるいは準陽性となった場合にはさらに遺伝カウンセリングを行った後、確定検査を行いその後の方針を決定します。妊娠継続、中断いずれを選択された場合も当院にてフォローいたします。ご紹介いただいた妊婦様が確定検査を行わず中絶を希望されて来院された場合は是非当院へお戻しください。

【トピックス3】

最近の脳神経外科における血管内治療について

脳神経外科第二部長

兼集中治療センター副センター長 若林 健一

近年の低侵襲手術への傾向を踏まえ、脳神経外科でも各種の手術方法に進歩がみられます。その代表的なものとして血管内治療(カテーテル治療)と神経内視鏡手術が挙げられます。なかでも血管内治療の進歩は目覚ましく、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術や頸動脈狭窄症に対するステント留置術は、従来の頭部や頸部の切開を必要とする開頭クリッピング術や頸動脈内膜剥離術を凌ぐ勢いで増加しています。

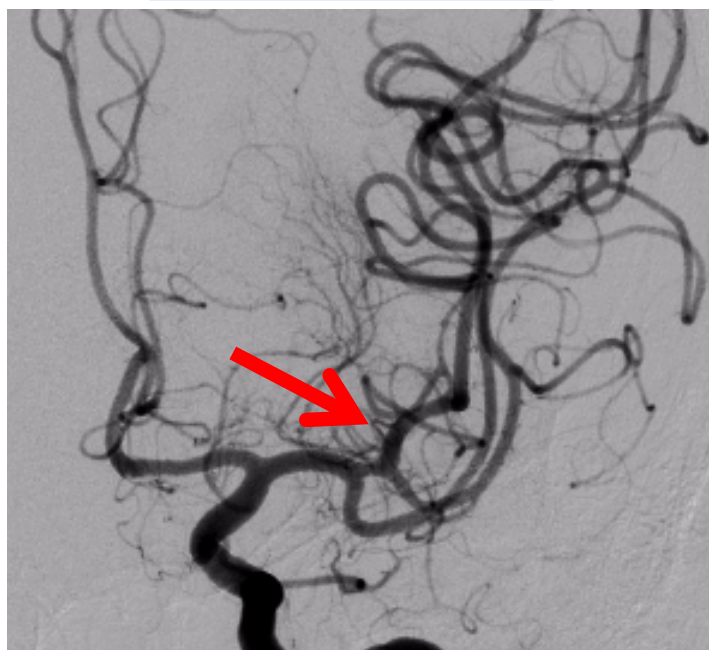
こうした血管内治療の新たな治療法の一つに超急性期脳梗塞におけるカテーテル血栓回収療法があります。これまで超急性期脳梗塞に対する治療はtPAと呼ばれる薬剤を注射することが標準的な治療でしたが、この治療法では脳の主幹動脈に詰まった血栓はなかなか溶解してくれず、従って再開通率がそれほど高くないことが欠点でした。しかし最近登場したこの血栓回収療法ではtPA療法が不十分だった場合(あるいはtPA療法が対象とならない場合でも)、カテーテルを通して特殊な器具を操作することにより、詰まった血栓を機械的に回収することができます。この治療法により、重い言語障害や麻痺を残さずに済む症例が増えつつあります。超急性期という制限があるため、全ての脳梗塞症例に本治療法を施行できる訳ではないのですが、世界中で本治療法が着実に増加しているのは事実です。当院の昨年(2016年)の血栓回収療法は25例でした。この中には従来の治療では救命し得なかったり、あるいは日常生活に復帰することは叶わなかった症例などもあり、全例にとはいきませんが、十分に期待が持てる治療法と考えています。

当院は急性期医療を担う役割から昼夜を問わず多くの脳梗塞患者を受け入れていますが、今後も更なる治療成績の向上を目指し、この地域の医療に貢献できるよう努力して行きたいと思えます。

手術前



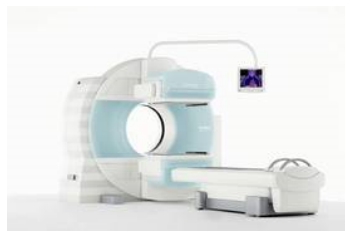
手術後



「アイソトープ検査」のご紹介



PET-CT

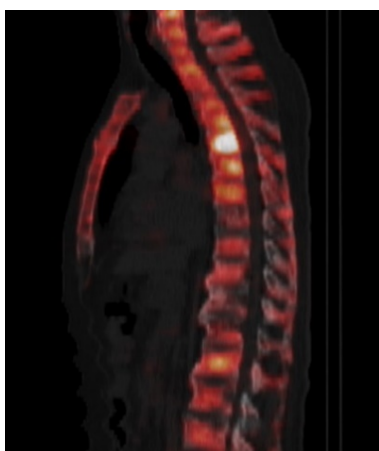


SPECT-CT

当院では、平成28年10月より最新のPET-CT装置1台とSPECT-CT装置1台を新規導入し、高度放射線棟において治療を行っています。

SPECT-CT装置はガンマカメラとCTが一体となった装置です。CT画像を正確に重ね合わせることでSPECTの位置情報を補い、集積部位の正確な同定が可能で、質的診断を向上させることができます。当院の装置ではxSPECTという機能が装備され、従来の画像よりも鮮明な骨シンチの画像を得ることができます。

また、当院のPET-CT装置は通常よりも検出器が25%体軸方向に長いため、通常の検査時間で呼吸同期収集をはじめとする、様々な最新の補正技術と組み合わせてクリアな画像を提供することが可能です。



骨シンチ矢状断像(xSPECT+CT fusion画像)



骨シンチMIP像(xSPECT)



PET/CT MIP(呼吸同期なし)



PET/CT MIP(呼吸同期収集)

大腸がん 肝転移の症例

※ アイソトープ検査のお申込みに関するお問い合わせは、病診連携室まで。 TEL(0532)33-3013



この広報誌に関するご意見・ご要望は下記へお寄せください

豊橋市民病院 患者総合支援センター

〒441-8570 豊橋市青竹町字八間西50番地

TEL (0532)33-6111(代) 内線1491

FAX (0532)33-6230